

北陸地方整備局管内で「釣り文化振興促進モデル港」を指定
～新潟港へ指定証の交付式を開催します～

国土交通省港湾局では、観光資源としての港湾における釣り施設や既存の防波堤等の利活用を進めており、平成31年2月から3月にかけて地方創生を目的とした釣り文化振興の取組が進められている港湾を「モデル港」として募集し、13港を釣り文化振興促進モデル港として指定致しました。

北陸地方整備局管内では、新潟港と直江津港が指定されました。このうち、新潟港への指定証の交付式を下記のとおり開催することとしましたので、お知らせします。

※ 直江津港については4月23日に交付式開催済み

- 日時:令和元年5月27日(月) 17時より10分程度の予定
・新潟港振興協会(定時総会)終了後、交付式を開催します。
- 場所:新潟県新潟市中央区西堀通7番町1574番地 ホテルイタリア軒3階「サンマルコ」
- 指定港(応募協議会等)

新潟港(新潟港第2東防波堤釣り開放等にかかる連絡会)



新潟港 位置図



釣り開放状況



新潟港 釣り開放場所位置図

同時発表記者クラブ
管内各県政記者クラブ
専門紙

【問い合わせ先】
国土交通省 北陸地方整備局
港湾空港部 海洋環境・技術課 荒木 誠一
電話 025-280-8761

1. 「釣り文化振興促進モデル港」指定の概要

国土交通省港湾局は、地方創生を目的とした観光等の取組を進めている中で、観光資源としての港湾における釣り施設や既存の防波堤等の港湾施設の利活用を進めています。

一方、防波堤等での釣り人の転落事故等も見受けられますが、安全対策をしっかりと行い、ルールを作り、関係機関の連携の下、防波堤等の港湾施設を多目的に使用していくことが、むしろ事故の防止・減少につながることもなると考えられます。

このような背景の下、地域の関係者による釣り文化振興の取組が進められている港湾を、釣り文化を促進する「モデル港」として、2月4日から3月14日まで地元協議会等から募集し、全国で13港を「釣り文化振興促進モデル港」として港湾局長が指定しました。

2. 「モデル港」指定要件

以下の要件を総合的に判断して指定を行います。

- ① 釣りによる地域創生・地域活性化を図るという地域の意向があること。
- ② 釣り客の需要が一定程度見込まれること。
- ③ 釣果が見込まれる防波堤等の港湾施設があること。
- ④ 地元関係者からなる協議会等が組織されていること。

3. 支援策

- ・「(公)日本釣振興会」による安全対策やマナー教育への支援
- ・「全国協議会(今後立ち上げ予定)」における情報交換・交流
- ・国交省港湾局からの情報発信等による広報

所在地	港名	協議会等
青森県	青森港	青森港釣り利用検討会
秋田県	秋田港	秋田港外港地区北防波堤釣り開放に向けた検討会
福島県	小名浜港	いわき小名浜みなとオアシス連絡協議会
	相馬港	新地町海釣り公園協議会
新潟県	新潟港	新潟港(東港区)第2東防波堤釣り開放等にかかる連絡会
	直江津港	直江津港第3東防波堤釣り開放等にかかる協議会
静岡県	熱海港	熱海港海釣り施設連絡協議会
	清水港	清水港フィッシングエリア振興協議会
高知県	高知港	高知港の利活用等にかかる協議会
山口県	下関港	下関港湾協会
福岡県	北九州港	北九州釣いこか倶楽部
	芦屋港	芦屋港海釣り施設運営協議会
大分県	別府港	別府国際観光港みなとまちづくり協議会

